



薩摩川内市 企業連携協議会

Satsumasendai City
Business Cooperation
Council

「薩摩川内市企業連携協議会」は、

市内の企業の連携を強化し、企業間および産学官金の交流促進、市経済の発展、雇用の拡大を図ることを目的に、平成25年11月に設立されました。

「薩摩川内市において良かった！来て良かった！」と思えるまちづくりを目指して、さまざまな事業に取り組んでいます。

今回から、新シリーズとして、本市で活躍する同協議会の会員企業を隔月（奇数月）で紹介します。

第一弾は、同協議会の取り組みについて紹介します。

協議会の主な取り組み

■スマコミライトの開発・製造

太陽光発電と蓄電池を備え、電源が不要な独立電源型LED灯「スマコミライト」が、会員企業18社と産学官の連携で誕生しました。

外観基本デザインを川内商工高校インテリア科の生徒が、制御装置の回路設計をポリテクカレッジ川内が担当し、各部品を市内企業が製造・調達して完成

した製品です。現在、市内外に147基設置されています。



■学校と企業の情報交換会

市内での就業機会の創出と地元企業の人材確保、雇用拡大・就業率のアップを目的に開催しています。昨年7月に行われた情報交換会には、近隣市町の大学・高校から13校、会員企業20社が参加し、活発な情報交換を行いました。



■企業見学会(学校対象)

学校の進路指導、就職担当者を対象に、市内企業見学会を行いました。事業内容、製品、職場環境などについて理解を深めることで、学生の進路指導などの参考とし、市内での就業機会の創出を図ることが目的です。昨年11月の企業見学会には、近隣市町の大学や高校から10校が参加しました。



■PR活動

毎週木曜日18時から、FMさつませんだいの「企業のチカラ メイドイン薩摩川内」で、会員企業を紹介しています。

■市内企業訪問

会長と事務局が会員企業を訪問し、現況や課題などについてヒアリングを行い、協議会活動に反映させていきます。

■メールマガジンの配信

会員企業向けに、国・県・関係機関などの情報を、メールマガジンで随時配信しています。

協議会プロフィール

【会長】

田中博(株)岡野エレクトロニクス代表取締役社長)

【会員数】

市内企業132社(平成28年4月8日現在)

【協議会の主なメンバー】

■会員 市内に事業所などがあり、本協議会の主旨に賛同する企業

■オブザーバー 県産業立地課、(公財)かごしま産業支援センター

■協力団体 川内商工会議所、薩摩川内市商工会、薩摩川内市産業支援センター、薩摩川内市

■関係団体 かがしま貿易振興協会、川内市金融団三水会、(株)日本政策金融公庫川内支店、ハローワーク川内、ポリテクカレッジ川内、鹿児島純心女子大学、鹿児島障害者職業能力開発校、川内商工高校